

災害等情報（詳報）

| | | | | | | |
|--|------------------------------------|------|---|---|---|---|
| 鉱種：石炭 | 鉱山の所在地：北海道 | | | | | |
| 災害等の種類： 坑内・落盤のため | 発生日時： 平成29年11月14日（火） 10時10分頃 | 罹災者数 | 死 | 重 | 軽 | 計 |
| | | | － | 1 | － | 1 |
| 罹災者 年齢、職種、直轄・請負の別、勤続年数、担当職経験年数： 29歳、採鉱担当係員、直轄、勤務年数3年、担当職経験年数3年 | | | | | | |
| 罹災程度：左足[左第3趾基節骨骨折、左足部皮膚壊死] 経過重傷[休業日数43日間] | | | | | | |
| <p>【概要】</p> <p>災害発生当日、坑内切羽¹の採炭作業に作業員13名が配番され、そのうち風坑袖部²の山固め³作業に作業員2名が配番された。</p> <p>同作業員2名で天盤と切羽面の目視点検を行ってから、カッペ⁴を取り付けている2列の支柱列(風坑と平行)のうち1列の切羽との間にカッペ1本を継ぎ足した後、当該カッペと自走枠の先端部との間で、カッペと天盤の間に割材⁵を差し込む作業を行っていた。</p> <p>2名のうち作業員Aが風坑側で割材を押し込み、作業員Bが風坑袖部(切羽側)で割材を引き入れていた。</p> <p>作業員Bが3枚目の割材を自走枠の先端部に載せ始めた時に、風坑のアーチ型鋼枠肩部(天盤近く)から大きな石(60cm×40cm×20cm、重さ約20kg)が鋼枠に沿って落下し、風坑袖部にいた作業員Bの左足甲に当たり、り災した。保安靴を履いていたが、覆われていない部分に当たったもの。</p> <p>作業員B(り災者)は、直ちに班長にり災の概要を説明し、患部を見せたがひどいケガには見えず、終業時間まで作業を続けた。</p> <p>罹災の状況については当日のヒヤリハット報告により社内に周知された。</p> <p>作業員B(り災者)は、翌日電話で、足指が痛むため休む旨を上司に連絡。病院で診察を受け、皮膚壊死の心配があるので入院するよう医師から指示された。その翌々日、再度診察を受けたところ、左第3趾基節骨骨折・左足部皮膚壊死で1～2週間の入院加療が必要とされた。</p> | | | | | | |
| <p>【原因】</p> <ol style="list-style-type: none"> 目視点検のみで風坑袖部の天盤及び切羽面の状態が良いと判断し、切り付けや打診点検を行わなかった。 風坑袖部の山固めの保安対策の評価・見直しが不足していた。 | | | | | | |
| <p>【対策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「風坑袖部の山固め保安対策」として、手順書に次の対策を追加した。 <ul style="list-style-type: none"> カッペ延長及び材料入れ作業を行う前に必ず天盤・切羽元・鋼枠肩部の切 | | | | | | |

¹ ほぼ平行な2本の坑道の間(概ね200m弱)を坑道に沿って掘り進めており、切羽面は坑道の方向とほぼ直角になっている。

² 2本の坑道のうち坑口に近い側の「風坑」と自走支保枠(崩れやすい天盤を支え、切羽の採掘空間を確保しながら、採炭方向に自ら移動できる支保枠)との間の空間部分。

³ 崩れやすい天盤部分に枠を施し(施枠)、又は枠を補強したりすること。

⁴ 鋼製のI型鋼(四角い長い棒)で、支柱と天盤の間に挟めて天盤を押さえる役目のもの。

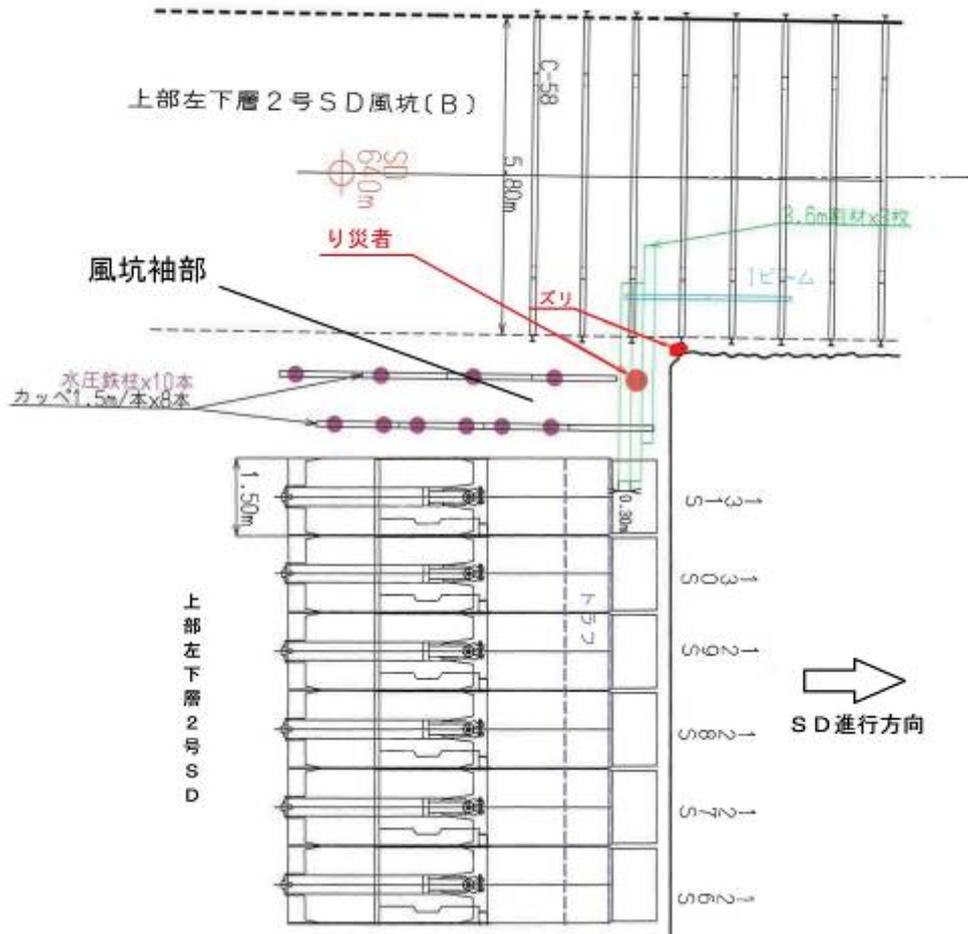
⁵ 長さ360cm×幅30cm×厚さ5cmの平板。

| |
|---|
| <p>り付け、打診点検を行う。</p> <p>2 保安対策については、評価・見直しの不足をなくすため、現況調査等を実施する時期・体制の検討を行い、リスク低減対策の有効性の向上・強化を検討する。</p> <p>3 新たな「風坑袖部の山固め保安対策」に関して、採鉱担当採鉱上席者が採炭作業者に教育を行い、周知徹底を図る。 [11/17に教育を実施済み]</p> |
| <p>【参考情報等】</p> <p>○天盤・切羽等の点検は、環境が良くても油断せず適切な方法で確実に行いましょう。</p> <p>○作業方法又は作業手順は、保安上の漏れがないよう見直しを実施しましょう。</p> <p>○鉱山保安法令における参考規定は以下のとおり。</p> <p>落盤又は崩壊（鉱山保安法施行規則第3条）。</p> <p>機械、器具及び工作物の使用（鉱山保安法施行規則第12条）。</p> |
| <p>【お問い合わせ先】</p> <p>北海道産業保安監督部 鉱山保安課 佐藤課長 嶋田</p> <p>電話番号 011-709-2466</p> |

災害発生箇所位置図
平成29年11月14日



り災者位置平面図



災害現況図

縦断図 -183m LEVEL

